

第2 公営企業の業務の状況

1 長野県病院事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成13年度後期における県立5病院の利用人員は、入院15万1,757人、外来23万1,128人、計38万2,885人で前年同期に比較し、1,980人の増加となりました。

収益については、前年同期に比較し入院収益と外来収益を合わせ4,761万4,530円の増収となりました。

また、平成13年度後期における介護老人保健施設2施設の利用人員は、入所1万6,750人、通所360人、計1万7,110人で、収益については、入所と通所を合わせ2億292万1,171円となりました。

病院の施設設備については、須坂病院の新棟建設工事、こども病院の本館棟改修工事及び木曽病院の療養型病棟整備事業等が完了したほか、各病院の医療機器の整備充実に努めました。

平成13年度後期の実績は、次表のとおりです。

利用状況

(平成13年10月1日～平成14年3月31日)

病院名	診療科目	病床数	患者数				延べ人員計
			入院		外来		
			延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県立須坂病院	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科	264	42,267	232	76,270	635	118,537
長野県立駒ヶ根病院	精神科、神経科	310	36,673	202	14,399	120	51,072
長野県立阿南病院	内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科	196	18,825	104	36,099	301	54,924
長野県立木曾病院	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、消化器科、リハビリテーション科、精神科	224	34,450	189	83,991	700	118,441
長野県立こども病院	小児科、小児外科、心臓血管外科、循環器科、眼科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、産科、耳鼻いんこう科、神経科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科	200	19,542	107	20,369	170	39,911
計		1,194	151,757	834	231,128	1,926	382,885

(平成13年10月1日～平成14年3月31日)

介護老人保健施設名	入所定員	利用者数				延べ人員計
		入所		通所		
		延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県阿南介護老人保健施設 アイライフあなん	50	8,243	45	44	1	8,287
長野県木曾介護老人保健施設 アイライフきそ	50	8,507	47	316	2	8,823
計		16,750	92	360	3	17,110

(2) 経理の状況

合計 残高 試算表

(平成14年3月31日現在)

借方		勘定科目	貸方	
残高	合計		合計	残高
438億9822万1177円	756億8661万5739円	固定資産	317億8839万4562円	
81億6106万6621円	688億2517万5130円	流動資産	606億6410万8509円	
11億1477万9039円	13億2123万1704円	繰延勘定	2億645万2665円	
	79億8987万2933円	流動負債	137億1799万6150円	57億2812万3217円
	8億1376万1076円	資本金	372億5700万1049円	364億4323万9973円
	6300万3602円	剰余金	220億7572万97円	220億1271万6495円
98億6112万3736円	98億6112万3736円	欠損金		
	58億393万499円	収益	228億1278万8498円	170億885万7999円
181億5774万7111円	284億4730万5826円	費用	102億8955万8715円	
811億9293万7684円	1988億1202万245円	合計	1988億1202万245円	811億9293万7684円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高

(平成14年3月31日現在)

ア 資 産	531億7406万6837円
イ 企 業 債	361億9713万2699円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成14年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

営業関係については、5病院の年間延べ患者数は入院33万4,900人、外来50万5,400人、また介護老人保健施設の年間延べ利用者数は入所3万3,600人、通所620人を見込み、収入で185億4,560万8千円、支出で202億9,359万6千円を計上しました。

建設改良関係については、須坂病院整備事業32億463万6千円、医師住宅等環境整備事業2億1,487万4千円のほか、医療器械整備事業8億7,148万1千円を計上しました。

なお、予算の内容は次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 病院事業収益		185億4560万8千円
第1項 医業収益		135億481万6千円
第2項 医業外収益		45億4363万2千円
第3項 介護老人保健施設収益		4億9706万円
第4項 特別利益		10万円
	支	出
第1款 病院事業費用		202億9359万6千円
第1項 医業費用		184億4470万7千円
第2項 医業外費用		13億7231万8千円
第3項 介護老人保健施設費用		4億7333万7千円
第4項 特別損失		323万4千円

(資本的収入及び支出)

	収	入
第1款	資本的収入	51億2462万4千円
第1項	企業債	40億9400万円
第2項	他会計負担金	10億2554万円
第3項	国庫補助金	508万4千円
	支	出
第1款	病院事業費用	56億8340万1千円
第1項	建設改良費	42億8566万2千円
第2項	企業債償還金	13億9644万3千円
第3項	投資	129万6千円

イ 経営の方針

公共の福祉と地域住民の医療確保に努め、企業の経済性との調和を図り、計画的、効率的に運営し、経営の健全化に努めます。

2 長野県電気事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成13年度後期の電気事業は、既設の美和発電所以下14発電所（最大出力9万9,050キロワット）の運転管理を行い、1億4,974万7,579キロワットアワーの電力を供給しました。また、事故防止に万全を期すとともに、既設発電所の改良工事、新規水力開発地点の調査等を実施しました。

なお、供給電力量及び電力料金収入の状況は、次の表のとおりです。

区分 月別	供 給			電 力		
	美和・春近発電所	西天竜発電所	四徳発電所	小渋第1・第2発電所	小渋第3発電所	量
前期計	7398万6691kWh	171万249kWh	157万5706kWh	1013万6467kWh	135万9196kWh	
10	2098万3074kWh	△ 2530kWh	33万6664kWh	478万8678kWh	2万8249kWh	
11	880万5466kWh	50万3334kWh	15万8224kWh	562万2525kWh	△ 5kWh	
12	452万2050kWh	244万6760kWh	14万4800kWh	294万1370kWh	18万9639kWh	
1	736万800kWh	243万2000kWh	28万5760kWh	420万5980kWh	22万6323kWh	
2	526万6500kWh	212万3042kWh	19万4800kWh	351万440kWh	19万6636kWh	
3	256万2344kWh	245万4200kWh	34万9380kWh	342万2170kWh	22万4038kWh	
後期計	4945万234kWh	995万6806kWh	146万9628kWh	2449万1163kWh	86万4880kWh	
合 計	1億2343万6925kWh	1166万7055kWh	304万5334kWh	3462万7630kWh	222万4076kWh	

区分 月別	供給			電		力			量
	与田切発電所	大鹿発電所	大鹿第2発電所	菅平発電所	裾花発電所				
前期計	1484万1860kWh	2694万790kWh	1154万9860kWh	△ 1万8790kWh	3653万4300kWh				
10	207万2090kWh	362万7760kWh	250万8470kWh	△ 3080kWh	358万5932kWh				
11	26万7130kWh	305万7230kWh	153万4909kWh	△ 1040kWh	118万500kWh				
12	△ 6471kWh	237万7000kWh	110万3970kWh	77万7580kWh	241万9400kWh				
1	33万2780kWh	192万2300kWh	75万5650kWh	118万2150kWh	372万7900kWh				
2	54万5790kWh	111万7000kWh	50万7120kWh	164万3850kWh	331万7700kWh				
3	152万7000kWh	295万300kWh	142万4720kWh	209万1080kWh	910万1900kWh				
後期計	473万8319kWh	1505万1590kWh	783万4839kWh	569万540kWh	2333万3332kWh				
合計	1958万179kWh	4199万2380kWh	1988万4699kWh	567万1750kWh	5986万7632kWh				

区分 月別	供給電力量			目標電力量 (B)	比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100 (\%)$
	奥裾花発電所	奥木曾発電所	合計 (A)		
前期計	488万1746kWh	1448万1976kWh	1億9798万 51kWh	2億2798万0000kWh	86.8
10	60万8440kWh	65万1680kWh	3913万5427kWh	2943万5000kWh	133.0
11	43万8148kWh	70万3352kWh	2226万9773kWh	1659万1000kWh	134.2
12	24万4698kWh	99万 740kWh	1815万1536kWh	2078万5000kWh	87.3
1	35万6720kWh	68万3330kWh	2347万1693kWh	2205万5000kWh	106.4
2	29万8870kWh	40万9690kWh	1913万 938kWh	2407万0000kWh	79.5
3	101万2550kWh	46万8530kWh	2758万8212kWh	3170万1000kWh	87.0
後期計	295万8926kWh	390万7322kWh	1億4974万7579kWh	1億4463万7000kWh	103.5
合計	784万 672kWh	1888万9298kWh	3億4772万7630kWh	3億7261万7000kWh	93.3

電 力 料 金 収 入

月 別	料金収入（定額・従量併用制）
前 期 計	20億7526万6004円
10	3億5195万9589円
11	3億3055万1720円
12	3億2658万1347円
1	3億3381万9740円
2	3億2841万9326円
3	3億 654万 852円
後 期 計	19億7787万2574円
合 計	40億5313万8578円

(2) 経理の状況

合計 残高 試算表

(平成14年3月31日現在)

借方		勘定科目	貸方	
残高	合計		合計	残高
322億1431万2393円	606億7306万6667円	固定資産	284億5875万4274円	
46億9575万3261円	142億8354万8486円	流動資産	95億8779万5225円	
713万3650円	992万9650円	繰延勘定	279万6000円	
	2億563万0000円	固定負債	3億348万4310円	9785万4310円
	6億636万8191円	流動負債	8億3328万1365円	2億2691万3174円
	9億5654万5287円	資本金	309億8368万579円	300億2713万5292円
	5514万7789円	剰余金	66億8611万1605円	66億3096万3816円
		収益	41億716万5784円	41億716万5784円
41億7283万3072円	41億8029万787円	費用	745万7715円	
410億9003万2376円	809億7052万6857円	合計	809億7052万6857円	410億9003万2376円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高

(平成14年3月31日現在)

ア 資産	369億1719万9304円
イ 企業債	191億9492万1389円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成14年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

美和発電所以下14発電所に係る供給目標電力量を3億8,710万9千キロワットアワーと見込み、これに伴う電力料金等の収益の合計43億2,550万3千円を計上しました。

また、水力発電費等維持管理に要する費用の合計40億8,828万6千円を計上しました。

(イ) 建設関係

既設発電所の改良を実施するとともに、中小水力開発のため、新規水力開発地点の調査等を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収		入
第1款	電気事業収益	43億2550万3千円
第1項	営業収益	42億488万7千円
第2項	営業外収益	559万4千円
第3項	特別利益	1億1502万2千円
支		出
第1款	電気事業費用	40億8828万6千円
第1項	営業費用	29億2524万6千円
第2項	営業外費用	10億5691万8千円
第3項	特別損失	1億612万2千円

(資本的収入及び支出)

収		入
第1款	資本的収入	6億2821万5千円

第1項	工事受託金	221万5千円
第2項	長期貸付金返還金	6億2600万 円
	支	出
第1款	資本的支出	20億1281万7千円
第1項	建設改良費	4億2251万5千円
第2項	受託工事費	231万 円
第3項	他会計への長期貸付金	6億 円
第4項	企業債償還金	9億8799万2千円

イ 経営の方針

美和発電所以下14発電所の運転管理については、諸設備の整備点検に万全を期すとともに、効率的な発電計画により増収を図り、安定した経営に努めます。

3 長野県ガス事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成13年度後期のガス事業は、長野市ほか5市9町の供給区域に2,784万1,145立方メートルのガスを供給し、安定供給の確保と保安の充実を図るため、中圧導管網の整備、ガスホルダーの建設、経年管の布設替及びお客様の財産である経年埋設内管の取り替え促進に努めたほか、新規需要に対応するための本支管拡張工事を実施しました。

なお、供給戸数、ガス販売量及び料金収入の状況は、次の表のとおりです。

月別	区分	供給戸数	ガス販売量	料金収入
前期計		—	2122万2059m ³	19億9851万4904円
10		5万 557戸	369万5123m ³	3億 425万 37円
11		5万 556戸	389万5124m ³	3億3761万8519円
12		5万 623戸	451万 252m ³	4億 108万4219円
1		5万 656戸	516万7130m ³	4億6908万2732円
2		5万 634戸	561万7861m ³	5億1902万6777円
3		5万 650戸	495万5655m ³	4億5276万8729円
後期計		—	2784万1145m ³	24億8383万1013円
合計		—	4906万3204m ³	44億8234万5917円

(2) 経理の状況

合計 残高 試算表

(平成14年3月31日現在)

借方		勘定科目	貸方	
残高	合計		合計	残高
206億9021万2113円	335億 696万2813円	固定資産	128億1675万 700円	
20億8075万7910円	138億4478万8568円	流動資産	117億6403万 658円	
207万7954円	298万1954円	繰延勘定	90万4000円	
	3064万8217円	固定負債	7億9176万5661円	7億6111万7444円
	5億4369万3707円	流動負債	7億8512万1795円	2億4142万8088円
	4億5894万7650円	資本金	126億 143万7674円	121億4249万 24円
	4億1290万6878円	剰余金	98億5020万2425円	94億3729万5547円
	45万9475円	収益	46億3576万5857円	46億3530万6382円
44億4458万9508円	44億5717万5281円	費用	1258万5773円	
272億1763万7485円	532億5856万4543円	合計	532億5856万4543円	272億1763万7485円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高

(平成14年3月31日現在)

ア 資 産	227億7304万7977円
イ 企 業 債	95億6332万3077円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成14年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

長野市ほか5市9町の5万1千戸に、年間ガス供給量5,304万6千立方メートルを予定し、ガス料金等の収益の合計50億8,252万3千円を計上しました。

また、ガス購入費、供給設備の維持管理等に要する費用の合計49億746万9千円を計上しました。

(イ) 建設関係

安定供給の確保と保安の充実を図るため、中圧導管のループ化を計画的に進めるほか、経年管の布設替を実施します。また、新規需要に対応するため本支管の拡張工事を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 ガス事業収益		50億8252万3千円
第1項 営業収益		50億8079万4千円
第2項 営業外収益		172万9千円
	支	出
第1款 ガス事業費用		49億746万9千円
第1項 営業費用		45億7582万9千円
第2項 営業外費用		3億3164万円

(資本的収入及び支出)

	収	入
第1款 資本的収入		11億1930万4千円
第1項 企業債		5億円
第2項 補助金		126万3千円

第3項	負担金	6億1804万1千円
	支出	
第1款	資本的支出	23億7089万1千円
第1項	建設改良費	18億8878万円
第2項	企業債償還金	4億8211万1千円

イ 経営の方針

安定供給の確保及び保安の充実を図るため、効率的かつ計画的に、中圧導管網の整備、経年管の布設替え等を実施していきます。

お客様の安全確保を図るため、定期保安検査及び消費機器の安全な使用の啓発に努めるとともに、お客様の財産である経年埋設内管の取り替えを促進していきます。

また、工業用などの大口需要、事業所等の夏場の冷房に利用する空調契約など業務用需要の拡販に取りくむとともに、家庭用ガス需要を増やすための施策を実施し、引き続き健全経営に努めます。

4 長野県水道事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成13年度後期の水道事業の概要は、次のとおりです。

ア 末端給水事業は、前期に引き続き長野市ほか2市3町の給水地域に883万5,382立方メートルを給水するとともに、安定給水の確保を図るため施設の改良工事及び老朽管更新対策事業等を実施しました。

なお、給水戸数及び水道料金の状況は、次の表のとおりです。

月別	区分	給水戸数	有収水量	水道料金
前期計		—	941万3956m ³	15億5143万941円
10月		6万4836戸	164万7378m ³	2億7111万7580円
11月		6万4860戸	143万6521m ³	2億3847万373円
12月		6万4880戸	151万7995m ³	2億5311万3196円
1月		6万4859戸	143万2368m ³	2億3775万4468円
2月		6万4953戸	150万2240m ³	2億5004万5120円
3月		6万4135戸	129万8880m ³	2億1991万9336円
後期計		—	883万5382m ³	14億7042万73円
合計		—	1824万9338m ³	30億2185万1014円

イ 水道用水供給事業は、前期に引き続き松本市及び塩尻市に1,474万2千立方メートルの水道用水を供給するとともに安定供給を図るため浄水施設の改良工事等を実施しました。

なお、供給量及び用水料金の状況は、次の表のとおりです。

月別	区分	供給量	用水料金
前期計		1482万3000m ³	9億7179万5880円
10月		251万1000m ³	1億6462万1160円
11月		243万 m ³	1億5931万800円
12月		251万1000m ³	1億6462万1160円
1月		251万1000m ³	1億6462万1160円
2月		226万8000m ³	1億4869万80円
3月		251万1000m ³	1億6462万1160円
後期計		1474万2000m ³	9億6648万5520円
合計		2956万5000m ³	19億3828万1400円

(2) 経理の状況

合計 残高 試算表

(平成14年3月31日現在)

借方		勘定科目	貸方	
残高	合計		合計	残高
576億8479万2637円	786億8956万4421円	固定資産	210億477万1784円	
30億6538万1110円	171億2581万4184円	流動資産	140億6043万3074円	
243万1875円	350万8875円	繰延勘定	107万7000円	
	5620万8908円	固定負債	6億5491万6826円	5億9870万7918円
	7億8379万3339円	流動負債	9億9217万7960円	2億838万4621円
	16億3563万6351円	資本金	414億7276万6838円	398億3713万487円
	9億5171万2423円	剰余金	206億2973万5889円	196億7802万3466円
	190万3409円	収益	50億4503万2556円	50億4312万9147円
46億1277万17円	46億2143万346円	費用	866万329円	
653億6537万5639円	1038億6957万2256円	合計	1038億6957万2256円	653億6537万5639円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高

(平成14年3月31日現在)

ア 資産	607億5260万5622円
イ 企業債	329億5811万1066円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成14年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

末端給水事業については、長野市ほか2市3町の6万5千850戸に年間給水量1,858万7千立方メートルを、水道用水供給事業については、松本市、塩尻市に年間供給量2,956万5千立方メートルを予定し、水道料金等の収益の合計55億1,407万8千円を計上しました。

また、浄水費等維持管理に要する費用の合計51億4,012万9千円を計上しました。

(イ) 建設関係

末端給水事業については、安定給水と安全性確保のため、導水・浄水施設等の整備を進めるとともに、地震・事故にも強い施設とするため、老朽管更新対策事業を計画的に実施します。

水道用水供給事業については、安定供給と安全性確保のため、浄水施設整備等を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 水道事業収益		55億1407万8千円
第1項 営業収益		54億5239万4千円
第2項 営業外収益		6168万4千円
	支	出
第1款 水道事業費用		51億4012万9千円
第1項 営業費用		36億4937万円
第2項 営業外費用		14億9075万9千円

(資本的収入及び支出)

	収	入
第1款 資本的収入		20億9030万4千円

第1項	企 業 債	9億9000万 円
第2項	補 助 金	12万 円
第3項	負 担 金	9億8026万 円
第4項	出 資 金	1億1992万4千円

支 出

第1款	資本的支出	40億8653万 円
第1項	建設改良費	26億5562万8千円
第2項	企業債償還金	14億3090万2千円

イ 経営の方針

末端給水事業については、安定給水を図るため効率的な管理運営を行い、使用者へのサービス向上に努めるとともに、健全経営に努めます。

水道用水供給事業についても、安定供給を図るため効率的な管理運営に努めます。

また、末端給水事業及び水道用水供給事業ともに、危機管理体制の強化に努めます。

5 長野県観光施設事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成13年度後期の観光施設事業の概要は、次のとおりです。

ア 保健休養地については、飯綱高原地区及び斑尾高原妙高地区の造成済用地3,818平方メートルを分譲しました。

なお、保健休養地の開発状況は、次の表のとおりです。

保健休養地の開発状況
(昭和37年4月1日から平成14年3月31日まで)

区分	取得面積	分譲予定面積 (A)	分譲面積 (B)	(B)のうち平成13年度後期分	分譲残面積 (A)-(B)	分譲率 $\frac{(B)}{(A)} \times 100$ (%)
寄付開発地区	3051万8325㎡	1943万5941㎡	1911万9672㎡	592㎡	31万6269㎡	98.4
買取開発地区	1018万4198㎡	642万2321㎡	639万7071㎡	3226㎡	2万5450㎡	99.6
分割払買取地区	320万5923㎡	63万510㎡	63万510㎡	0㎡	0㎡	100.0
合計	4390万8446㎡	2648万8972㎡	2614万7253㎡	3818㎡	34万1719㎡	98.7

イ 観光施設については、前期に引き続き管理運営を行いました。

ウ 平成13年度後期の有料道路事業は、霧ヶ峰有料道路の管理運営を行い、料金徴収期間の満了に伴い、平成14年2月21日をもって事業を終了しました。

建設関係では、通行車両の安全確保のため、橋梁整備工事等の改良工事を実施しました。

通行台数及び通行料金の状況は、次の表のとおりです。

月 別 路 線	霧 ヶ 峰	
	通 行 台 数	通 行 料 金
前 期 計	55万3248台	6億 673万5100円
10	6万7053台	7106万2227円
11	3万1278台	2936万9672円
12	1万2504台	804万2748円
1	2万2119台	1386万3768円
2	1万5160台	975万2697円
後 期 計	14万8114台	1億3209万1112円
合 計	70万1362台	7億3882万6212円

(2) 経理の状況

合計 貸 高 試算表

(平成14年3月31日現在)

借		方		勘定科目	貸		方
残高	合計	合計	合計		残高		
22億4425万1289円	258億6536万1106円	258億6536万1106円	236億2110万9817円	固定資産			
12億4131万9057円	36億6328万534円	36億6328万534円	24億2196万1477円	流動資産			
129万3115円	320万2431円	320万2431円	190万9316円	繰延勘定			
	11億4400万円	11億4400万円	20億1866万6093円	固定負債			8億7466万6093円
	3億269万2260円	3億269万2260円	10億3943万4509円	流動負債			7億3674万2249円
			40億6868万9058円	資本金			40億6868万9058円
	3015万2035円	3015万2035円	5264万4668円	剰余金			2249万2633円
9億5014万4034円	16億466万5287円	16億466万5287円	6億5452万1253円	欠損金			
	698万7494円	698万7494円	13億1439万2028円	収益			13億740万4534円
25億7298万7072円	25億8969万3323円	25億8969万3323円	1670万6251円	費用			
70億999万4567円	352億1003万4470円	352億1003万4470円	352億1003万4470円	合計			70億999万4567円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高

(平成14年3月31日現在)

ア 資 産	34億8686万3461円
イ 企 業 債	0円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成14年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

保健休養地の分譲については、飯綱高原地区ほか2地区において年間分譲面積0.8ヘクタールを、施設管理については、戸倉上山田ヘルスセンターについて引き続き貸付を行い、収益は合計3億5,512万7千円を計上しました。

また、売上原価及び維持管理等に要する費用の合計4億5,842万円を計上しました。

(イ) 建設関係

保健休養地については、事業終了に伴う地元市村への管理補償金等の必要経費を計上しました。

戸倉上山田ヘルスセンターについては、設備設置工事に要する経費を計上しました。

なお、予算の内容は次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収		入
第1款	観光施設事業収益	3億5512万7千円
第1項	営業収益	1億4666万2千円
第2項	営業外収益	846万5千円
第3項	特別利益	2億 円
支		出
第1款	観光施設事業費用	4億5842万 円
第1項	営業費用	2億2633万5千円
第2項	営業外費用	795万9千円
第3項	特別損失	2億2412万6千円

(資本的収入及び支出)

収		入	
第1款	資本的収入	6億	25万7千円
第1項	補助金		25万7千円
第2項	他会計からの長期借入金	6億	円
支		出	
第1款	資本的支出	9億3219万	円
第1項	建設改良費	2411万	円
第2項	開発費	2億8208万	円
第3項	他会計からの長期借入金償還金	6億2600万	円

イ 経営の方針

保健休養地については、平成14年度末の事業終了に向けて、残物件の分譲を促進するとともに、終結に向けて残地処理など地元市村との調整を進めます。

戸倉上山田ヘルスセンターについては、今後の貸付事業のあり方の検討を早急に行い、基本方針を定め、対応を進めます。